

【Andrin the Lawspeaker】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿。小神。

■称号、職能

ヒョルト王の“法の語り部”を務めた英雄神。

■概略

法を制定したヒョルト王の法の語り部として、様々な身分や氏族の法、義務や罰則、罪や調停の手続きを言い告げた。今日にまで「アンドリンの言葉」として彼の言葉は伝えられ、そこで彼は「ヴィングコット、ヒョルト、アンドリンは法を立てた。オーランスこそ法である。」と語っている。また言葉の中の「族長に求められるもの」「部族王」などでは、氏族長や部族王となるには何をなさねばならないかを述べている。彼の名は氏族集会や部族の会合、交易での公式な取引に立ち会うときに称えられる。

オーランスのカルトとしては社会的地位に根ざしたカルトであり、その信者は限られている。

組織

■相、カルト

すべての父オーランスの下位カルト。

参考文献

- ・『Thunder Rebel』 p.175、216-217、231